

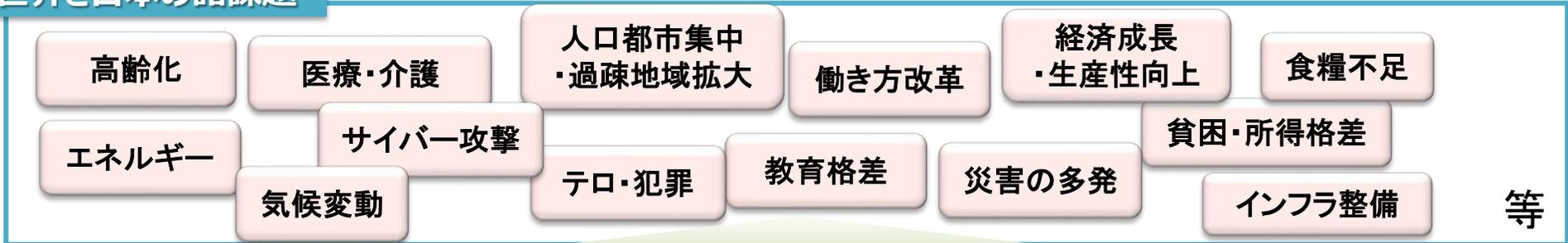
ICTグローバル戦略の検討について

平成30年12月
事務局

ICTグローバル戦略の必要性

世界と日本が抱える課題の解決と日本の技術・サービス・製品の売り込みに向け、イノベーション活用のためのICTグローバル戦略が必要。

世界と日本の諸課題



ICTによる課題解決
(AI、IoT、ビッグデータ、5G…)

日本の対応

ICTによる社会課題解決、イノベーションの創出



途上国の成長への貢献、先進国の課題解決
日本の技術・サービス・製品の売り込み

Society5.0^{※1}の実現



SDGs^{※2}の達成



デジタル変革時代のICTグローバル戦略が必要

※1 Society5.0とは、狩猟社会 (Society1.0)、農耕社会 (Society2.0)、工業社会 (Society3.0)、情報社会 (Society4.0)に続く新たな社会。
※2 SDGs (持続可能な開発目標) とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016～2030年の国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、発展途上国のみならず、先進国も取り組む普遍的目標。

G20の場において、ICTによる社会課題の解決のモデルを世界に向けて発信。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



① デジタル化によるSDGsの実現



課題解決に有効な分野を特定

- アプリケーション
（農業・漁業のスマート化、遠隔医療、自動翻訳、eラーニング、防災ICT、クラウドを活用した生産性向上、フィンテック、…）
- ICTインフラ

② デジタルインフラ整備の推進



質の高いインフラ整備の促進

③ 情報の自由な流通とデータ利活用の推進



情報の自由な流通のコンセンサスの拡大

④ AIの利活用の推進と環境整備



自由な開発環境整備を通じたイノベーションの促進

⑤ サイバーセキュリティの強化



セキュリティ人材の育成等

⑥ デジタルにおけるジェンダー格差の改善

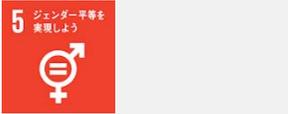


社会参画を容易にするデジタル利活用

⑦ 電子政府・デジタル経済の計測等



政府のデジタル利活用を通じたデジタル化の推進



「経済政策の方向性に関する中間整理」 (平成30年11月)
(未来投資会議 まち・ひと・しごと創生会議 経済財政諮問会議 規制改革推進会議)

第2章 成長戦略の方向性

(1) Society5.0の実現

AIやIoT、センサー、ロボット、ビッグデータといった第4次産業革命がもたらす技術革新は、私たちの生活や経済社会を画期的に変えようとしている。技術革新を現場に積極的に取り入れ、労働生産性の向上を図る。このため、国民一人ひとりの視点に立って、ゴールイメージの共有化を図り、SDGsに向けたSociety5.0の実現により、国民一人ひとりの生活を目に見える形で豊かにする。



1. 開催時期・場所

2019年6月8日(土)～9日(日)、茨城県つくば市(つくば国際会議場)

※大阪サミットは6月28日(金)、29日(土) (2017年はドイツ、2018年はアルゼンチン、2020年はサウジアラビア)

2. テーマ(デジタル経済分野)

今後各国と調整の上決定
(想定)

- ・Society5.0
- ・SDGsの実現
- ・AIの利活用推進と環境整備



3. 参加国

議長国(日本)、G7(仏、米、英、独、伊、加、EU)、BRICs(ブラジル、露、印、中)、アルゼンチン、豪、インドネシア、メキシコ、サウジアラビア、南アフリカ、韓国、トルコ、その他 招待国、国際機関

4. 関連する取組

我が国の最新のICT技術を中心に各国の情報通信担当大臣等にアピールし、今後の国際展開・国際連携を促進するとともに、地方創生に貢献するため、各種イベント・展示等の実施を検討。

G20デジタル経済大臣会合（アルゼンチン、2018年8月）の大臣宣言

■ 以下の点の重要性を確認。

ア デジタルガバメント

ICTが、行政機関の近代化や効率性の向上に重要な役割を担うことを強調。デジタル化によって政府の効率性と機能を向上させ、デジタル経済の発展に貢献することが重要。

イ デジタルにおけるジェンダー格差の解消

デジタル化における男女格差の解消を推進し、女性のデジタル経済への参画を向上させ、持続的・包摂的な成長を可能とする。

ウ デジタル経済の計測

デジタル経済の客観的な計測によって、エビデンスベースの政策立案を可能とする。

エ 開発のためのデジタルインフラの促進

2025年までにすべての人をインターネットに接続するという目標を達成するべく、投資促進的な政策の推進、透明で安定的な投資環境の確保などの方針につき合意。

オ 革新的技術

革新的技術の普及について、G20各国での成功事例、グッドプラクティスを共有し、すべての国や企業、個人のレベルでのデジタル化を推進。

■ 2019年のG20に向けて、以下のトピックを議論することを確認。

- デジタル経済の計測
- デジタル政府の推進
- デジタルインフラ構築の促進
- SDGsを実現するためのデジタル化の情報共有
- AI
- サイバーセキュリティ

来年議長国として、各トピックに対する提案を議論する必要

検討の方向性のイメージ

デジタル変革時代のICTグローバル戦略の策定

ICT分野の研究開発と社会実装で日本の社会課題を解決

1. 世界最先端のICT研究開発

- Society5.0の実現や国際競争力の強化に必要な**ICT基盤技術**の確立
 - ディープラーニングの限界を超える次世代AI技術
 - 多種多様なIoTサービス、超高精細映像伝送等を支える超高速ネットワーク
 - 拡大する宇宙産業に対応する通信・観測技術の高度化
- 国際競争力の強化に向けた**重点施策の再編**
 - 国が重点的に取り組むべき技術分野
 - 研究開発環境の整備、人材育成

2. ICTの社会実装

- **社会課題の解決**に資する技術開発の推進、開発を促進するための**環境整備**
 - 農業において、IoT機器を大量設置、長期運用し、効率的な運用管理を可能とする技術
 - 相手の話す言語を認識し、即時に翻訳する技術
 - 高齢や障害のある方が脳情報によりロボットを制御するブレインマシンインターフェース技術
- 海外展開を念頭においた、研究開発段階からの**国際標準化**や**国際連携**の推進

日本のICTを海外展開し、世界の社会課題を解決

- 世界各地域が抱える社会課題を分析し、**ICTによって社会課題を解決**
- 望ましい**国際的なルール**の姿の検討、その形成を推進するための方策
- 戦略推進のあり方(2019年6月の**G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合**及びその後のG7・G20等の場での活用等)



デジタル変革時代のICTグローバル戦略懇談会

技術戦略WG

ICT分野の研究開発と社会実装で
日本の社会課題を解決

<検討事項>

1. 世界最先端のICT研究開発
 - ・ Society5.0の実現や国際競争力の強化に必要なICT基盤技術の確立
 - ・ 国際競争力の強化に向けた重点施策の再編
2. ICTの社会実装
 - ・ 社会課題の解決に資する技術開発の推進、開発を促進するための環境整備

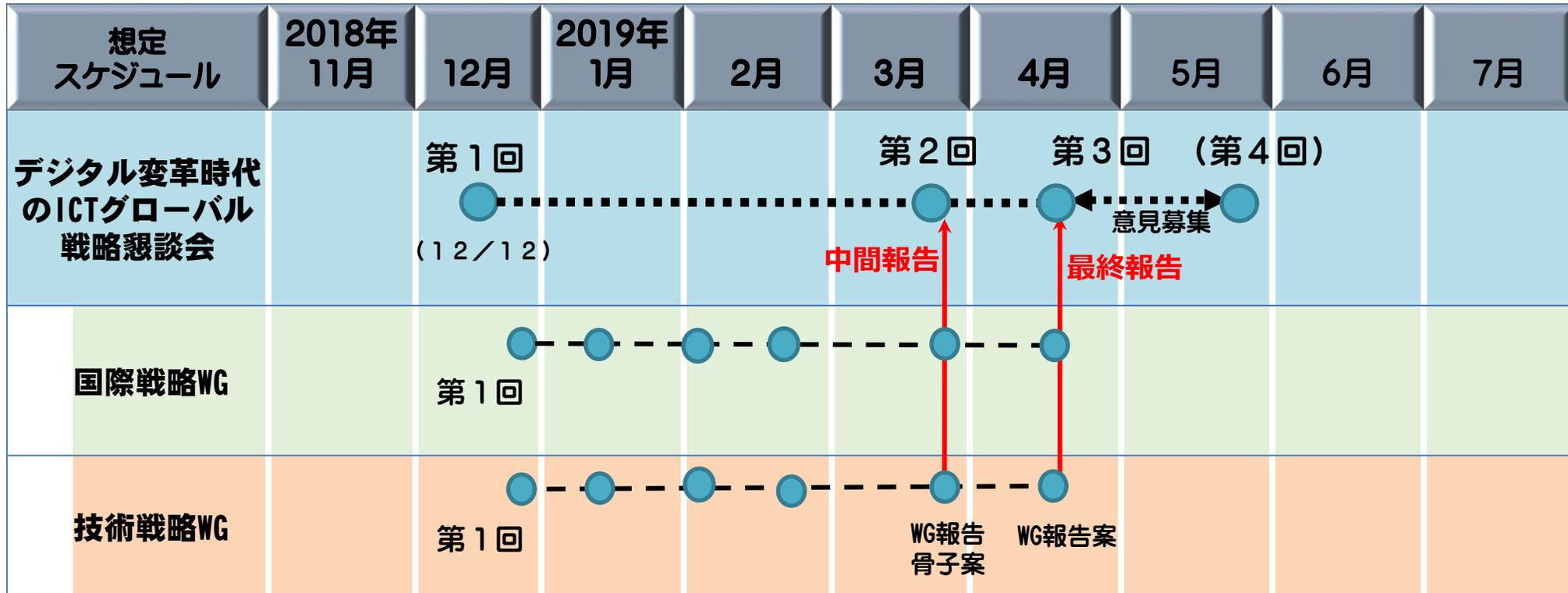
国際戦略WG

ICTを海外展開し、
世界の社会課題を解決

<検討事項>

- ・ ICTの海外展開及びそれによるSDGsの実現を通じた社会課題の解決
- ・ 望ましい国際的なルールの姿の検討及びその形成を推進するための方策
- ・ G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合、その後のG7やG20などの場の活用を含めた、日本の戦略推進の在り方

デジタル変革時代のICTグローバル戦略懇談会のスケジュール（想定）



※参考：G20サミット（大阪）は6月28日、29日に開催予定。

G20貿易・デジタル経済大臣会合（茨城つくば）は6月8日、9日に開催予定。